

階級的労働運動再生の手引き

労大ハンドブックⅢ『やがてくる日に』に学ぶ

第1回

東京ブロック

なぜ、このテキストにしたか

司会（佐久間）…今月号から労大ハンドブックⅢ『やがてくる日に』を全12回で学んでいきます。

今日の情勢下で、三池労働者運動から私たちは、なにを学ぶのか。なぜ、このテキストにしたのか、奥山労働大学副学長から提起をお願いします。

三池と安保闘争から65周年

奥山…これまで古典のテキストが続きました。しかし、今年は1960年にたたかわれた三池と安保闘争から65周年になります。このたたかいは、総

資本と総労働のたたかいとして、日本の階級闘争史上に燦然と輝き、後々も



奥山副学長（左）と司会の佐久間さん（右）

語り継がれてきた労働者階級のたたかいの財産であり、とりわけ職場闘争の財産とも言われてきました。

三池闘争を全組織あげて支援し、安保闘争の中核となつてたかつたのは総評（日本労働組合総評議会）です。

総評は1950年に結成され、第2回大会で平和四原則（全面講和、中立堅持、軍事基地反対、再軍備反対）を決定し左派社会党と一体となつて運動を進めてきました。

左派社会党 労働大学を作る

1954年左派社会党は、科学的社会主義にもとづく「左社綱領」を決定し、党員教育のために「労働大学」を

◆みんなの学習講座

作ったのです。日本において、初めて社会主義政党と労働運動の正しい結合が達成され、復活した日本独占資本と正面から対決することになります。

総評は1955年第6回大会で、岩井章が事務局長になり、太田薫が副議長となり、ここで太田、岩井ラインが確立し、後の三池闘争にも大きな影響を与えるのです。

1955年12月総評幹事会は「春季賃上げ闘争方針」を決定し、56年春から「春闘」が始まったのです。太田薫は発足にあたって「闇夜を一人で歩くのは誰でも怖い。みんなお手つないで歩くのが春闘だ」と有名な言葉を発しています。参加人員は300万人を超え、民間主要単産は、前年比10%を上回る成果をあげました。春闘はこの年から総評解散まで、およそ30年続いて、中立労連、全労会議も参加し、参加人員も1000万人を超え、日本の賃金相場を決定していくこ

とになります。まさに総労働を結集した、世界でも例のないたたかいでした。労働者の主体の強化、統一は実現したかに見えたが、ここには大きな弱点がありました。

一方、朝鮮戦争特需により復活した独占資本は日本生産性本部をつくり、東芝闘争を收拾した経団連会長石坂泰三を会長にすえました。折しも1955年11月自由党、日本民主党が合同し、自由民主党が発足しました。

60年に月刊誌『まなぶ』発行

この情勢の中で左右社会党が合同し、左社綱領を廃棄、左右混ぜ合わせたような綱領ができました。このため左社の党学校であった労働大学は独立し、60年月刊誌『まなぶ』を発行、青年労働者の教育と実践に大きな役割を果たしていくことになりました。

総資本の参謀本部である日本生産性

本部は、大幅賃上げを抑え、前進しつつあった労働者の組織拡大を食い止めねばなりません。石坂は民間大企業幹部を中心とした大規模な対米視察団をつくり、数次に渡り渡米し、アメリカ企業で考察されたSQC（品質管理）をまなばせ、これを日本化し、能力主義管理を推進しました。

新しい労務管理でバラバラ

この新しい労務管理は、「社員、工員の身分制度を廃止し昇進は青空天井とする。下級職制を大量につくり、能力査定権を与える。小集団活動により、集団同士を競争させ、その成果を能力給で保障する」ことでした。

進行する技術革新の中で、新しい技術を習得した青年労働者はこれを歓迎しました。中高年熟練労働者は、下級職制に取り立てられ、労務の末端機構になりました。現場労働者の気持ちを

巧みに取り入れた能力主義管理は、予想以上に職場に浸透し、職場闘争、労働者としての連帯意識を破壊していったのです。

その結果が今日のような、労働者がバラバラになり、一人ひとりが孤立して資本の攻撃を受けるようになったのです。まさに能力主義管理こそ、日本労働運動を内部から腐敗させた毒薬だったのです。

しかし、職場を基礎にして組合がしっかりしているところでは、はじめから問題にされなかったのです。その先進的な組合が三池労組でした。当時の生産性本部の記録によれば、資本はストライキよりも職場闘争を恐れていたことがよくわかります。

そのため総資本の攻撃は、三池に集中しました。

司会（佐久間）…奥山副学長、ありがとうございます。このテキストを選んだ理由を簡単に説明して頂きました。

川野房雄さんが、ハンドブックの中で「三池炭鉱の発祥からひも解き、発展、衰退、廃坑までの時系列的な整理を行い、それと相まって進んだ三池労働者運動がどのように、展開されてきたのかを歴史からまなび、不十分ですが記すことができました。」（61ページ）と述べられています。そのようなテキストですが、どうでしょうか。

三池と言われても

熊谷…すみません。私は、1972年生まれなので、三池と言われても良くわからないんですけど、三池の闘いの歴史を。

千葉…労大新書の『三池闘争』を持っているので、三池の歴史を振り返ってみましょう。

1945年に敗戦になってGHQが日本を統治するわけでしょう。民主化をやってその後、レッド・パー

で共産党員とその同調者を公職、企業から追放しました。

三池の炭坑労働者は、前史は、裸で炭を掘っているわけですよ、そこには人間の姿はないわけですよ。だからこの闘いで、職場の主人公は私たちだよ、労働者だよ。人間性回復のたたかいを始めたということなんです。社会の主人公までを意識した職場闘争なんです。その先というのは、やがてくる日に、労働者階級の解放なんですよ。そこまで認識した中身になつていると思います。

渡部…「やがてくる日に」っていうのは誰が考えたタイトルでしょうか。誰がつけたのかなと思つた。全国交流集会に行くと、大きな旗が掲げられているけど何だと思つていたけど。

司会（佐久間）…「やがてくる日に」は、労働大学まなぶ友の会運動の真髓が述べられている詩で、友の会運動の基本がここにあります。

◆みんなの学習講座

やがてくる日に

やがてくる日に

歴史が正しく書かれるやがてくる日に

私たちは正しい道を進んだといわれよう

私たちは正しく生きたといわれよう

私たちの肩は労働でよじれ

指は貧乏で節くれだっていたが

そのまなざしは

まっすぐで美しかったといわれよう

真つすぐに

美しい未来をみつめていたといわれよう

働くもののその未来のために

正しく生きたといわれよう

日本のはたらく者が怒りに燃え

たくさんの血が

三池に流されたのだといわれよう

三池のたたかひの中で 詠み人知らず

三池炭鉱労働組合（三池労組）略史

1945年	8月	敗戦	米国(GHQ)による占領開始
1946年	2月	三池炭鉱労働組合結成	
	11月	日本国憲法公布	
1947年	10月	炭労結成	三池労組内に本所研究会が発足 塚元敦義さんら8名船出
1950年	6月	朝鮮戦争勃発	
	7月	「総評」結成	
	10月	レッド・パーシ個人通知197名	
1952年	9月	「炭婦協」結成	
	10月	炭労無期限スト突入(63スト)	
1953年	7月	三池炭婦協結成大会	
	8月	三井鉱山5,738名の首切り発表 「三鉱連」指名スト突入、朝鮮戦争休戦	
	9月	三池労組指名スト突入(7日から)	
	11月	1,825名指名解雇撤回を勝ち取った「英雄なき113日の闘い」	
1954年	5月	「三鉱連」経営方針変革闘争決定 三池労組職場闘争強化方針を打ち出す	
	7月	石炭鉱業合理化臨時措置法成立 6万人の首切りと40%の能率向上	
	8月	生活革命運動展開	
	11月	長期計画協定(完全雇用等)締結	
1956年	2月	職場到達闘争方針確認(別名、あっち向け闘争)	
	11月	三池労組結成10周年記念式典	
		1959年～60年 三池闘争・激闘313日の闘い	
1959年	1月	三井鉱山第一次合理化案提案	
	8月	三井全山で4,580名の首切りを柱とする第二次合理化案提案	
	12月	会社1,297名に指名解雇状を発送	
1960年	1月	会社、ロック・アウト通告、三池労組全面ストに突入	
	3月	会社、生産再開強行、久保清さん刺殺	
	7月	「安保体制粉碎不当弾圧反対、 三池を守る総評九州拠点10万人ホッパー前大集会	
	9月	炭労臨時大会、藤林・中山幹旋案受諾、 三池労組・炭労の決定に基づき、決意と態度を決定	
	11月	スト解除、就労決定大会・就労宣言	
1962年	4月	「長期抵抗路線」に基づく行動方針確立	

千葉…この詩は、1960年、313日のストライキを闘った三池炭鉱労働組合員が詠んだ詩です。

この詩の背景を知るには三池炭鉱労働組合の歴史を知ることが必要です。

学習と職場闘争と

家族ぐるみが大事だ

田口…三池は、何でそんな闘いができただろう。

小泉…そういえば、30年位前に三池労組元書記長の灰原さん、川野さんが逆オブルグに来たとき、向坂先生と三池の八人衆の学習会があったということ、学習闘争がここから始まって、学習闘争と職場抵抗闘争と家族ぐるみ、この3本柱が大事だと言われました。

灰原さんに、「三池労働組合と清掃労働組合の違いは何なのかを一緒に、学習交流しよう」と言われました。司会（佐久間）…八人衆の学習会が、どんな風に進められてきたんだろうね。高井…向坂先生は、学習会に来るたびに「大牟田川は何で汚いのか」と聞いたそうです。ある時に「その話はもう暗記しています」と八人衆は答えたそ

うです。そうしたら「大牟田川の汚い原因がわかったなら、解決方法もでてくるだろう」「解決できていないということは、本当にわかっていない」と言われたと、川野さんから聞きました。司会（佐久間）…俺たちの学習は、テキストの自身をまなぶだけではなくて、俺たち自身の運動を振り返ってみる、三池の闘いのエキスを俺たち自身の成長やそれぞれの労働組合、労働運動にどう活かしてきたのかを中心に学ぼうよ、としてきました。

学習が職場闘争にどう活かされてきたのか、この点はどうでしょうか。

さん付け運動拡がる

島田…「さん付け運動」、私の私鉄の職場では、泊まり勤務で同じ釜の飯を食いながら様々な年代の仲間が24時間の生活をしている中で、上司から「おい島田」と言われた時、むっとしたけ

ど雇われているから文句言えなかった。学習会に行ったら「雇われているんじゃないくて、私たち一人ひとりが主人公だ」と教わったから、勇気を持って「呼び捨てにしないで下さい、せめてさん付けをして下さい」と言い、「さん付け運動」が拡がりました。

千葉…点呼の時は呼び捨てだった。新幹線のMさんは、さん付け運動をやったんだよね。点呼の時、ちゃんと呼ばれなければ返事しなかった。

芳賀…女性の職場でいえば、女は出勤したらお茶を汲むのは当たり前、という状態だったのでは。

渡部…うちの職場では、若い人が朝来て先輩にお茶を入れてました。今振り返れば、おかしいことがあったと思います。

国鉄時代、電車が止まってからでないといけない作業を夜間作業でやっていました。超勤作業でその手当額がいまいだったので、明確にしたという

◆みんなの学習講座



老体に鞭打って熱心に学習

のがありました。

司会（佐久間）…家族ぐるみについては、どうですか。

檜崎…職場によって差があると思いますが、三池を真似して組織ができて、奥さん同士が集会に行くようなことがありませんが、進展しなかったのではないのでしょうか。私の分会では、そんな状況でした。

情勢が違つのでアレンジして

司会（佐久間）…他に何かありますか。

古賀…私が三池に行った時、主婦会の人が言っていたのは、今の人は大変だね。三池だとみんな一緒に働き一緒に住んで、父ちゃんが働き主婦が支え、主婦会があつて運動ができたけど。今の人はバラバラで、例えばリモートワーク、お互い直接相談することもなく、メールでやり取りする。そういう中でも、三池でやってきたことに学ぶ必要があるんじゃないか。やはり学習しお互いが繋がって支え合う。まなぶ友の会が、そうですね。そういうことを強化していくことしかないんじゃないですか。

具体的な運動を三池から学ぶにしても、情勢が違うわけですから自分たちなりにアレンジして、運動の本質、具体的な運動から学んでいくっていうの

は、あるんじゃないかなと思いました。司会（佐久間）…奥山さんからまともをお願いします。

奥山…今日の議論の内容から三池の労働者運動が3本の柱、学習闘争、職場抵抗闘争、家族ぐるみの闘いであり、それらが結びつき三池闘争が闘えたことが理解できました。本日は、第1回として皆さんの学習闘争が、どう職場に活かされたか、などの経験交流がされました。

残り11回は三池の労働者運動のエキスを私たち自身が、今日の情勢の中で友の会運動に、どう活かして行くかを明らかにしたいと思います。

司会（佐久間）…これで第1回は終わります。奥山副学長がまとめられたように、次回は、第一章に入り島田さんの学習闘争がどう自分自身の成長を勝ち取り、労働運動に活かされたかを皆さんと学習交流したいと思います。